



樟南高校（鹿児島市）

「18歳選挙」にも活用

2014年度に「普通
科未来創造コース」を立
ち上げ、新聞を教材にし
た授業を取り入れている。
実践校は1年目。担
当する元新聞記者の光司
智徳教諭(42)は「社会の
動きを知り、自分の考え
を持てる生徒を育てた
い」と意気込む。

扱う記事は幅広い。選
挙権年齢が「18歳以上」
に引き下げられた参院選
と県知事選では、紙面上
で候補の訴えなどを学ん
だ。毎回の授業では前週

に扱った記事を小テスト
で振り返る「ニュースチ
ェック」を実施し、理解
を深めている。

2年神村琳子さんは
「将来ファクション関係
の仕事に就きたくて、経
済面をよく見るようにな
った」と話す。光司教諭
は「新聞を読み続けるこ
とで、社会の問題点など
を深く考察できる生徒が
増えている」と手心を
口にした。

（加藤武司）

か
ご
し
ま

N
I
E
実
践
校

（年齢・肩書
は取材当時）



福平中学校（鹿児島市）

視点の違いが勉強に

新聞2紙の1面コラム
の読み比べに力を入れ
る。毎朝、当番となるク
ラスの文化部員らが紙面
を切り抜き、重要だと感
じた部分に線を引いてか
ら校内の4カ所に掲示。
文化部長の2年西隆輝さ
んは「同じテーマでも新
聞社によって視点が違う
のが勉強になる」と話す。
NIE実践校に認定さ
れて4年目。各クラスで
生徒が選んだ新聞記事を
掲示する活動や、授業で
の教材としての活用、乗

馬やダンスなど在校生の
活躍を伝える新聞記事の
校内での掲示にも取り組
む。継続的な活動を通し
て、徐々に生徒たちにも
親しんでもらえるよう
なってきたという。

NIEを担当する星川
美幸教諭(33)は「新聞を
読む環境さえつければ、
興味を持って読んでくれ
る。新聞記事を通して興
味や関心を広めていき
たい」と取り組みをさらに
推進していくつもりだ。

読み比べてもらうために各新聞の1
面コラムを切り抜く生徒

（右田雄一）